

2016年日本惑星科学会秋季講演会報告

2016年日本惑星科学会秋季講演会実行委員長(岡山LOC) はしもと じょーじ¹

2016年の日本惑星科学会秋季講演会は、2016年9月12日(月)～14日(水)の3日間、ノートルダム清心女子大学カリタスホールを会場にして実施されました。参加者数と発表件数はそれぞれ171人(事前参加申込108, 当日参加63)と143件(口頭100件, ポスター50件)で、前年と比べると参加者数は約2割減、発表件数はほぼ前年並でした。プログラムと予稿集の作成は行事部会がおこない、一般の口頭発表は1件あたり9分(質疑応答1分を含む)に設定されました。

会場となったノートルダム清心女子大学は秋季講演会を実施するには十分すぎる素晴らしい会場でした。会場を提供していただいたノートルダム清心女子大学と会場を借りる手続きなどをおこなっていただいた水野博会員に、お礼申し上げます。男性用トイレの数が不足しているのではとの懸念はありましたが、大きな混雑はなかったと思います。また、ポスター会場に自由に使うことのできる机と椅子があったことは、いろいろな打ち合わせをおこなうのに便利であったようです。

懇親会は浦川聖太郎会員のこたわりで、大学内の部屋を使用して会場費を節約し、食べ物と酒に重点がおかれました。懇親会の評判がよかったとしたら、それは浦川会員のお手柄であります。懇親会では、フットサル惑星科学杯の表彰式もおこなわれ、優勝チームには会長から賞状が授与されました。

本講演会は公益財団法人岡山工学会振興会と公益社団法人おかやま観光コンベンション協会から補助金の交付を受けました。補助金の申請にあたっては、奥村真一郎会員、二村徳宏会員、大西将徳会員が書類作成を

おこないました。本講演会を開催するにあたりご協力いただいた、秋季講演会実行委員会(岡山LOC)、行事部会、学生アルバイトの皆様にお礼申し上げます。

●秋季講演会

日程：2016年9月12(月)～9月14日(水)

場所：ノートルダム清心女子大学

〒700-0013 岡山市北区伊福町2丁目16-9

口頭発表：カリタスホール2階

ポスター発表：カリタスホール1階

懇親会：ヨゼフホール1階ラウンジ

講演数：口頭100件、ポスター50件

(最優秀研究者賞受賞講演および最優秀発表賞選考を含む)

●プログラム概要

○9月12日(月)

08:30 開場・受付

09:00 特別セッション 最優秀発表賞選考

10:55 学生・PD ポスターフラッシュ1

11:10 ポスターセッション1 コアタイム

12:10 昼食

13:30 口頭発表セッション1 系外惑星

14:10 口頭発表セッション2 原始惑星系円盤

16:00 口頭発表セッション3 惑星形成I

17:22 最優秀研究者 受賞講演1

○9月13日(火)

08:30 開場・受付

09:00 口頭発表セッション4 惑星形成II

1. 岡山大学大学院自然科学研究科
aloc-m1@wakusei.jp

- 10:30 学生・PDポスターフラッシュ2
 10:45 ポスターセッション2 コアタイム
 11:45 昼食
 13:00 口頭発表セッション5 アストロバイオロジー・火星・金星
 14:15 口頭発表セッション6 衛星・小天体
 16:10 総会
 17:10 最優秀研究者 受賞講演2
 18:30 懇親会(ヨゼフホール)
 21:00 完全退出

○9月14日(水)

- 08:30 開場・受付
 09:00 口頭発表セッション7 衝突・クレーター
 10:40 口頭発表セッション8 月
 11:52 昼食
 13:20 口頭発表セッション9 探査I
 15:37 口頭発表セッション10 探査II
 16:51 閉会

●会場アクセス概略



●口頭発表プログラム

口頭発表の講演時間は特別セッション15分(3分間の質疑時間含む)、一般セッション9分(1分間の質疑時間含む)です。下記では講演開始時刻、講演番号、第一著者名、和文表題を掲載しています。

○9月12日

- 08:30-08:55 受付(8時30分より開場)
 08:55-09:00 開催挨拶、連絡事項

特別セッション：最優秀発表賞選考

(座長：大竹真紀子)

- 09:00 S01 系外惑星の大気透過スペクトルの多様性の解明：ヘイズ粒子の生成・成長・沈降の効果 川島由依(東大)
 09:15 S02 多様な巨大惑星リングの形成過程について 兵頭龍樹(神戸大)
 09:30 S03 原始太陽系円盤における非晶質フォルスセライトからの含水鉱物ダスト形成：内惑星領域への水供給プロセス 山本大貴(北大)
 09:45 S04 エジェクタ速度分布スケール則の構築とはやぶさ2インパクト衝突による地形変化領域の考察 松榮一真(神戸大)
 10:00 S05 火星集積期における大気形成と水分配 齊藤大晶(北大)
 10:15 S06 高純度石英ガラスの磁気異方性 荻野理史(阪大)
 10:30 S07 層状ケイ酸塩における太陽風プロトンの影響 仲内悠祐(JAXA)

- 10:45-10:55 休憩
 10:55-11:10 学生・PDポスターフラッシュ1
 11:10-12:10 ポスターセッション1コアタイム
 12:10-13:30 昼食

口頭発表セッション1：系外惑星

(座長：中本泰史)

- 13:30 O1-01 紫外線望遠鏡による低温度星周りの系外惑星酸素大気検出の検討 堀越寛己(立教大)
 13:39 O1-02 ホットジュピターの高層大気構造と質量放出率の時間変動性 田中佑希(国立天文台)
 13:48 O1-03 1次元放射流体計算による集積期巨大ガス惑星からの水素輝線強度の推定・巨大ガス惑星形成への観測からの示唆 青山雄彦(東大)
 13:57 O1-04 リチウムに富んだ赤色巨星の検出と

惑星飲み込み説の検証 國友正信(名大)

14:06-14:10 座長交代

口頭発表セッション2：原始惑星系円盤・ダスト進化
(座長：城野信一)14:10 O2-01 54Cr同位体比異常の成因：不均質な
分子雲コア 中本泰史(東工大)14:19 O2-02 原始惑星系円盤における非平衡電離度
を考慮した MHD シミュレーション 藤井悠
里(コペンハーゲン大)14:28 O2-03 電子加熱による原始惑星系円盤の磁
気乱流の抑制 森昇志(東工大)14:37 O2-04 磁場駆動円盤風を考慮した原始惑星
系円盤の進化 鈴木建(東大)14:46 O2-05 巨大惑星による原始惑星系円盤のギャ
ップ構造の理論モデルの構築 金川和弘(シ
ュッチェン大)14:55 O2-06 遷移円盤 LkHa330 に付随するスパイ
ラル構造内での不均一なダスト成長 秋山永
治(国立天文台)15:04 O2-07 焼結ダストアグリゲイトにおける脆
性塑性転移 城野信一(名大)15:13 O2-08 原始惑星系円盤における鉛直方向拡
散によるダストアグリゲイトの焼結 児玉季
里子(名大)15:22 O2-09 原始惑星系円盤形成段階の高空隙率
ダストアグリゲイトの合体成長 本間謙二(東
工大)15:31 O2-10 原始惑星系円盤中の圧力パンプにお
ける岩石ダストの合体成長 瀧哲朗(国立天文
台)15:40 O2-11 低密度ダストの重力不安定による微
惑星形成 道越秀吾(筑波大)

15:49-16:00 休憩

口頭発表セッション3：惑星形成 I

(座長：小林浩)

16:00 O3-01 大規模 N 体計算が切り拓く惑星形成
I：PENTACLE(1,000万粒子シミュレーショ
ンに向けて) 堀安範(アストロバイオロジー

センター)

16:09 O3-02 大規模 N 体計算が切り拓く惑星形成
II：100万粒子を用いた微惑星集積 押野翔一
(国立天文台)16:18 O3-03 惑星形成 N 体計算の大粒子数化に向
けて：FDPSを用いた P3T 法の並列計算 山
川暁久(東工大)16:27 O3-04 高次化メッシュフリー法の導入と変
形への対応 山本智子(東工大)16:36 O3-05 DISPHを用いた月形成巨大衝突のパ
ラメーターサーベイ 細野七月(京大)16:45 O3-06 小惑星形状の衝突進化：弾性体 SPH
法を用いた微惑星の衝突計算 杉浦圭祐(名
大)16:54 O3-07 微惑星の衝突・破壊を考慮した地球
型惑星形成 佐藤雄太郎(名大)17:03 O3-08 衝突による惑星や衛星のコア・マン
トル比の進化 小林浩(名大)

17:12-17:22 休憩

17:22-18:22 最優秀研究者受賞講演 1

(司会：中本泰史)

隕石有機物の起源と進化：太陽系初期進化への
物質化学的アプローチ 癸生川陽子(横浜国大)

○9月13日

08:30 開場・受付

口頭発表セッション4：惑星形成 II

(座長：萩原正博)

09:00 O4-01 詳細な原始惑星系円盤進化を考慮し
た固体惑星集積シミュレーション 萩原正博
(国立天文台)09:09 O4-02 巨大衝突によって形成される惑星系
の構造 小久保英一郎(国立天文台)09:18 O4-03 タンデム惑星形成論による原始地球
物質モデル 二村徳宏(日本スペースガード協
会)09:27 O4-04 小惑星とカイパーベルト天体のサイ
ズ分布から推察される初期微惑星サイズ 森

島龍司(カリフォルニア大)

09:36 O4-05 コンドリュールとマトリックス粒子の同時集積による岩石微惑星形成モデル 荒川創太(東工大)

09:45 O4-06 進化するガス円盤中のペブル集積による地球型各惑星への水供給 山村武(東工大)

09:54 O4-07 巨大衝突により生じるデブリ円盤からの天王星の衛星形成 石澤祐弥(京大)

10:03 O4-08 周惑星円盤内での微衛星形成の困難 芝池論人(東工大)

10:12 O4-09 捕獲された固体物質の周惑星円盤内での分布 末次竜(産業医科大)

10:21-10:30 休憩

10:30-10:45 学生・PDポスターフラッシュ2

10:45-11:45 ポスターセッション2コアタイム

11:45-13:00 昼食

口頭発表セッション5:

アストロバイオロジー・火星・金星

(座長:黒川宏之)

13:00 O5-01 「あかつき」金星周回軌道における初期科学成果の概要 佐藤毅彦(JAXA)

13:09 O5-02 水溶液中におけるメタンディオール分解反応: ONIOM(QM:MM)法による解明 稲葉知士(早稲田大)

13:18 O5-03 氷衛星内部海でのクラスレートハイドレート形成に伴うアンモニウムイオンの取り込み 西谷隆介(阪大)

13:27 O5-04 火星大気元素・同位体組成による天体衝突と大気散逸史への制約 黒川宏之(東工大)

13:36 O5-05 火星地表水 pHの進化と安定性, Fe²⁺光酸化反応の理論的考察と室内実験 田畑陽久(東大)

13:45 O5-06 球殻状鉄コンクリーションの形成数値シミュレーションと形成環境の制約 柴田拓真(名大)

13:54 O5-07 南極産 CRコンドライト隕石の水質変成度と始原性の評価について 小松睦美(総研大)

14:03 O5-08 室温付近での蒸発乾固の繰り返しによるアデニンとリボースからのアデノシンの合成 橋爪秀夫(物質・材料研究機構)

14:12-14:15 座長交代

口頭発表セッション6: 衛星・小天体

(座長: 玄田英典, 樋口有理可)

14:15 O6-01 太陽系小天体における自転周期が表面重力場に与える影響 金丸仁明(阪大)

14:24 O6-02 火星衛星フォボス・ディモスの巨大衝突説における形成可能性 兵頭龍樹(神戸大)

14:33 O6-03 楕円軌道惑星による小惑星の一時捕獲ー火星衛星系の起源解明にむけてー 樋口有理可(東工大)

14:42 O6-04 火星衛星ダイモスのクレーター空間分布 平田直之(神戸大)

14:51 O6-05 火星の影響を受けた火星衛星表面の重力場と表層進化の関係 菊地紘(東大)

15:00 O6-06 セレスのクレーター形状と表層物性の推定 岡本千里(神戸大)

15:09 O6-07 セレスの内部海環境とその形成位置 関根康人(東大)

15:18 O6-08 冥王星の暗い赤道領域はカロン形成巨大衝突で作れるか? 玄田英典(東大)

15:27 O6-09 西はりま天文台 NICによる地球近傍小天体(1566) Icarusの近赤外測光観測 櫻井友里(岡山大)

15:36 O6-10 1998年うしかい座流星群突出現と1972年ジャコビニ流星群不発の謎の完全解明 佐藤勲(日大)

15:45 O6-11 あかり3 μ m分光観測小惑星のYJHK分光観測 長谷川直(JAXA)

15:54 O6-12 天体表面温度による表層物理状態の推定手法の検討 坂谷尚哉(JAXA)

16:03-16:10 休憩

16:10-17:10 総会

17:10-18:10 最優秀研究者受賞講演2

(司会: 中本泰史)

衝撃蒸発実験から探る冥王代地球表層進化 黒澤耕介(千葉工大)

18:10-18:30 移動
 18:30-20:30 懇親会(ヨゼフホール)
 21:00 完全退出

○9月14日

08:30 開場・受付

口頭発表セッション7：衝突・クレーター

(座長：石橋高)

- 09:00 O7-01 模擬低重力下における低速度クレーター形成実験：微小重力下クレーターサイズに対するレゴリス粒子固着力の影響の推定 木内真人(神戸大)
- 09:09 O7-02 模擬氷天体地殻を用いた強度支配域のクレータースケール則に関する実験的研究 高野翔太(神戸大)
- 09:18 O7-03 ペネトレータを用いた天体表層の物性探査 岡崎昌志(神戸大)
- 09:27 O7-04 石英ガラス球の衝突破壊実験における斜め衝突の効果 吉田優作(神戸大)
- 09:36 O7-05 鉄質天体のクレーター深さ直径比の温度依存性：軌道進化制約の可能性 小川諒(神戸大)
- 09:45 O7-06 室内実験によるレゴリス最表層密度進化の研究 大村知美(神戸大)
- 09:54 O7-07 小惑星イトカワのレゴリス粒子に存在するナノクレーターの観察 松本徹(JAXA)
- 10:03 O7-08 微小の室内衝突実験破片における3次元形状分布：ターゲット組織による影響 門川隆進(京大)
- 10:12 O7-09 「低速」高速度天体衝突による還元的炭素化合物の生成 石橋高(千葉工大)
- 10:21 O7-10 衝突点極近傍から放出される高速放出物：衝突実験とSPHシミュレーションの結果の比較 岡本尚也(千葉工大)

10:30-10:40 休憩

口頭発表セッション8：月

(座長：山本聡)

- 10:40 O8-01 観測衛星によるハイパースペクトルリモートセンシングに基づく月地殻マントルの構造の解明 山本聡(国立環境研)
- 10:49 O8-02 リモートセンシングデータを用いた月面に分布するカンラン石の起源推定 大竹真紀子(JAXA)
- 10:58 O8-03 月面クレータの地形緩和のタイムスケール 武藤史樹(名大)
- 11:07 O8-04 月のマグマ噴出量からみた火成活動の不均質性 田口雅子(名大)
- 11:16 O8-05 月のスコリア丘の形状からマグマの揮発成分の量を推測する試み 佐伯和人(阪大)
- 11:25 O8-06 月内部進化の初期温度依存性 小河正基(東大)
- 11:34 O8-07 赤外吸収分光法により検出される月隕石の水 鹿山雅裕(東北大)
- 11:43 O8-08 深海洋底とプレートテクトニクスの起源、駆動力の解明、マルチインパクト仮説による月と地球深海洋底の起源 種子彰(SEED SCIENCE Lab.)
- 11:52-13:20 昼食

口頭発表セッション9：探査I

(座長：千秋博紀、宮本英昭)

- 13:20 O9-01 はやぶさ2の科学観測 渡邊誠一郎(名大)
- 13:29 O9-02 はやぶさおよびはやぶさ2試料キュレーションと地球外物質研究グループ 安部正真(JAXA)
- 13:38 O9-03 はやぶさ2搭載レーザー高度計によるアルベド観測のための炭素質隕石反射率測定 山田竜平(国立天文台)
- 13:47 O9-04 模擬画像作成のためのラフ地形モデル 千秋博紀(千葉工大)
- 13:56 O9-05 含水鉱物による700nm吸収帯の分光撮像 高松知広(立教大)
- 14:05 O9-06 JUICE/GALA-J(1)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)ー概要および日本チームの役割 塩谷圭吾(JAXA)
- 14:14 O9-07 地球低周回軌道におけるアストロバ

イオロジー実験：たんぼぼ計画現況報告を中心に 小林憲正(横浜国大)

14:23-14:33 休憩

14:33 09-08 火星衛星探査ミッションとそのサイエンス 倉本圭(北大)

14:42 09-09 着陸機による火星環境探査の意義・戦略 白井寛裕(東工大)

14:51 09-10 火星着陸探査計画のための生命探査装置 山岸明彦(東京薬大)

15:00 09-11 MMXリモートセンシングによるフォボス分光観測と物質分布推定 中村智樹(東北大)

15:09 09-12 フォボスのレゴリスはどのような進化過程を経ているのか? 宮本英昭(東大)

15:18 09-13 フォボス表面の元素分析を行うためのLIBSを用いた隕石判別実験 堀内美沙(立教大)

15:27-15:37 休憩

口頭発表セッション10：探査Ⅱ

(座長：道上達広)

15:37 010-01 月火星の地下空洞直接探査 UZUME計画 春山純一(JAXA)

15:48 010-02 UZUME計画に向けて室内衝突実験からの考察. 楢円クレーターと縦孔形成の実験的研究 道上達広(近畿大)

15:57 010-03 スペクトルプロファイラデータ可視化Web-GIS「月光」の機能拡張：月面鉱物マッピングのための統計解析処理 飯村彰太(会津大)

16:06 010-04 かぐや搭載スペクトラルプロファイラの観測点位置の高精度化 石原吉明(JAXA)

16:15 010-05 宇宙科学研究所／月惑星探査データ解析グループの取り組みについて 大嶽久志(JAXA)

16:24 010-06 着陸探査用その場元素分析・年代測定装置の開発 亀田真吾(立教大)

16:33 010-07 Chang'e 3ローバ搭載月地下レーダ

およびSELENE月レーダサウンドによって雨の海で観測された地下構造の比較 熊本篤志(東北大)

16:42 010-08 月面探査機に向けた土質調査を行なう超小型ローバ 吉光徹雄(JAXA)

16:51 閉会

プログラムに関するお問い合わせは、学会 LOC宛(下記メールアドレス)までお願い致します。

aloc@wakusei.jp

●ポスター発表プログラム

ポスターは1日目午前から3日目午前までの2.5日間掲示できます。下記では発表番号、第一著者名、和文表題をコアタイム毎に掲載しています。ポスターは最終日の午前中に撤収して下さい。

ポスター講演者のうち、学生・PDのご身分の方は、ポスターセッションコアタイム直前の「学生・PDフラッシュ」で1分間のフラッシュトークを行うことができます。該当者は、事前にフラッシュトークで使用する資料を送付して下さい(締め切り・送付メールアドレス等、送付要領は後日アナウンスします)。

ポスターセッション1

コアタイム1日目(9/12) 11:10~12:10

S01 系外惑星の大気透過スペクトルの多様性の解明：ヘイズ粒子の生成・成長・沈降の効果 川島由依(東大)

S02 多様な巨大惑星リングの形成過程について 兵頭龍樹(神戸大)

S03 原始太陽系円盤における非晶質フォルステライトからの含水鉱物ダスト形成：内惑星領域への水供給プロセス 山本大貴(北大)

S04 エジェクタ速度分布スケール則の構築とはやぶさ2インパクト衝突による地形変化領域の考察 松榮一真(神戸大)

S05 火星集積期における大気形成と水分配 齊藤大晶(北大)

S06 高純度石英ガラスの磁気異方性 荻野理史(阪大)

- S07 層状ケイ酸塩における太陽風プロトンの影響
仲内悠祐(総研大)
- P1-01 ガス惑星における重力ポテンシャルによる二層分離の影響 黒崎健二(東大)
- P1-02 原始惑星系円盤内縁領域の温度構造の解析解
植田高啓(東工大)
- P1-03 系外惑星データベース「ExoKyoto」の開発
山敷庸亮(京大)
- P1-04 周火星円盤状大気による火星衛星前駆天体の抗力捕獲 松岡亮(北大)
- P1-05 高解像度ラージエディシミュレーションで得られた火星大気最下層における対流の微細構造 村橋究理基(北大)
- P1-06 2極化した海惑星の表層環境：高圧氷形成による炭素循環への影響 中山陽史(東大)
- P1-07 MC-ICPMSを用いたコンドライト隕石の高精度Mg同位体分析 早川瑛庸(東大)
- P1-08 始原的炭素質コンドライトAcfer 094のマトリクスの微細構造 中藤亜衣子(京大)
- P1-09 原始太陽系星雲における親鉄性元素の分別過程—コンドライト中の金属粒子のSIMS分析 比屋根肇(東大)
- P1-10 マーチソン隕石およびアエンデ隕石に産する有機物のその場観察 二村徳宏(日本スペースガード協会)
- P1-11 室内実験による重複クレーター形状の研究 横山康喜(神戸大)
- P1-12 石膏球面にできる衝突クレーターからのエジェクタ破片放出過程に関する実験的研究 鈴木絢子(JAXA)
- P1-13 連続スペクトルデータを用いた月の海の鉱物量比推定手法の開発と適用 加藤伸祐(名大)
- P1-14 かぐや分光データの自動分類に基づく月全球分光特徴量マップで見えてきた大規模地質の特徴 石原吉明(JAXA)
- P1-15 月画像解析によるクレーター光条線長さの計測：Zモデルとの比較 木下敏輝(神戸大)
- P1-16 月スワール探索のための、月面模擬画像作成と月探査画像との一致度評価 加藤裕明(会津大)
- P1-17 地球近傍小天体Icarusとその同一起源候補天体 2007 MK6の観測 浦川聖太郎(日本スペース

スガード協会)

- P1-18 日本で発見された2重小惑星 佐藤勲(日大)
- P1-19 地球が宇宙の中心に位置していないのに、赤方偏移が何故地球を中心として観測されるのか?量子赤方偏移の仮説では、観測中心と云う理由でその謎が解明出来た。種子彰(SEED SCIENCE Lab.)
- P1-20 地球と月のミッシングリンクを統一的に解明する、非常にユニークなアイデアによるマルチインパクト仮説 種子彰(SEED SCIENCE Lab.)
- P1-21 ティティウス・ボーデの法則の新証明と確認(マルチインパクト仮説の根拠) 種子彰(SEED SCIENCE Lab.)

ポスターセッション2

コアタイム2日目(9/13) 10:45~11:45

- P2-01 将来の地下空洞直接探査に向けた月面及び縦穴内での放射線線量評価 長岡央(早稲田大)
- P2-02 月の溶岩流研究と縦穴探査の意義 諸田智克(名大)
- P2-03 月表面掘削探査用のオンサイト質量分析システム 豊田岐聡(阪大)
- P2-04 将来測地観測によるフォボス内部構造の制約 松本晃治(国立天文台)
- P2-05 はやぶさNIRSデータを用いた小惑星イトカワの近赤外スペクトルマップ作成 稲澤朋生(会津大)
- P2-06 はやぶさ2小型着陸機MASCOTの投下運用シミュレーション 那須翔太郎(会津大)
- P2-07 小惑星Ryuguのポテンシャル高分布と地形の予測 平田成(会津大)
- P2-08 会津大学宇宙情報科学クラスターの取り組み 出村裕英(会津大)
- P2-09 「はやぶさ2」中間赤外カメラTIRによる巡航中の観測 岡田達明(JAXA)
- P2-10 火星探査の着陸候補地点の検討：火星環境進化の理解に向けて 関根康人(東大)
- P2-11 SLIM搭載をめざしたマルチバンドカメラの開発現場と科学目的 佐伯和人(阪大)
- P2-12 BepiColombo日欧共同水星探査ミッション：

MMOプロジェクト最新状況報告 早川基
(JAXA)

- P2-13 JUICE-JAPAN木星氷衛星探査計画：日本の狙うサイエンス 関根康人(東大)
- P2-14 JUICE/GALA-J(2)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)が拓くサイエンス 木村淳(東工大)
- P2-15 JUICE/GALA-J(3)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)における回線設計・性能モデルシミュレーション 石橋高(千葉工大)
- P2-16 JUICE/GALA-J(4)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)におけるエレクトロニクス・検出器関連開発 小林正規(千葉工大)
- P2-17 JUICE/GALA-J(5)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)の逆モンテカルロ法による放射線損傷評価 小林進悟(量子科学技術研究開発機構)
- P2-18 JUICE/GALA-J(6)：JUICE搭載ガニメデレーザ高度計(GALA)における受光部の光学/構造/熱設計 塩谷圭吾(JAXA)
- P2-19 超小型ロケット飛翔型探査ロボット Shooting Scouter 加藤裕基(JAXA)
- P2-20 重力天体着陸探査に向けた元素分析装置「能動型蛍光 X線分光計」の開発 長岡央(早稲田大)
- P2-21 ソーラー電力セイルによるトロヤ群小惑星の探査計画 岡田達明(JAXA)
- P2-22 月・火星の縦孔・地下空洞探査(UZUME計画)のアストロバイオロジー的意義 小林憲正(横浜国大)